

ミニギャラリー

今月の題字



熊野高等学校 3年
向井 杏さん

町の人口と世帯数

平成29年7月31日

(前年同月比較)



(住民基本台帳)

熊野高等学校 3年 向井 杏さん



【評】『筆の町』熊野町から芸術の魅力を発信しているという思いを、優しく優雅に表現しました。熊野高校の姉妹校として交流を行っている中国内江市第七中学へ5月に訪問し、交流の記念としてこの書作品と同様のものを贈呈しました。

熊野高等学校 3年 井手元 咲良さん



【評】弟と愛犬のツーショットを、明度差をもとに外国語雑誌の文字を切り貼りして表現したほほえましくも緻密に計算し根気よく仕上げた秀作。広島県高等学校デザインコンクール奨励賞受賞。全国大会の県代表作品に選出。

熊野の自然 (336)

ナンバンギセル

(ハマウツボ科)



ナンバンギセル
南蛮煙管の名は、南蛮のマドロスパイプに草の姿が似ることから付きました。南蛮とは南方の野蛮人の意味ですが、南方を経由して渡来したポルトガル人や品物も南蛮と呼んでいました。別名、思草。『万葉集』巻一〇に「尾花が下の思ひ草」と詠まれています。尾花はススキです。俯きがちに咲く花が、物思う様子に見えたようです。葉緑素を持たない全寄生の一年草です。ススキ、サトウキビ、ミョウガなどの根に寄生し養分を奪います。茎はごく短く、鱗片状の葉が数個互生していますが、ほとんど地上には出ません。花期は8〜9月頃。高さ10〜25cmの花柄が直立し、

淡紅紫色の花を1個つけます。花は長さ3〜3.5cm。筒状で先は浅く5裂し少し開きます。どの本にも「裂片の縁は全縁」と書かれています。撮った写真は細かい鋸歯がありました。雌しべの先の柱頭は大きく、黄色の毛が密生しています。萼は舟形で先端は尖ります。果実は蒴果で萼に包まれたまま熟し、無数の埃のような種子が入っています。日本各地に分布。町内でも道端の草地などで見えます。オオナンバンギセルの花は、裂片が大きく開き色鮮やかで縁に鋸歯があります。県内では中国山地に稀で深山や雲月山で見えています。

写真・文

緑花文化士 富沢由美子

県内市町発!!
おすすめイベント
ピクニック
【備北コスモスピケエニツタ】
約150万本のコスモスや約27万本のジニアなど秋の花々が咲き誇る国営備北丘陵公園で、週末を中心に秋の神楽や「花の演奏会」をはじめ、秋を彩る各種イベントが行われます。
9月16日(土)〜10月22日(日)
所国営備北丘陵公園
入園料：大人410円・シニア(満65歳以上)210円・小中学生80円・幼児無料
▼無料入園日(入園料駐車料無料)：10月8日(日)・15日(日)
▼満65歳以上の方に限り、入園料無料：9月18日(月・祝)
問備北公園管理センター
0824-727000

(地域振興課)

切り取って、電話機などに貼ってお使い下さい。

防災無線放送再生ダイヤル
082-820-5640
(放送終了後24時間自動再生)



「広報くまの」は再生紙と、認定を受けた環境にやさしい環境対応型インキを使用して印刷されています。